

苫小牧法務総合庁舎整備等事業

街並み環境計画懇談会（第2回）議事録

日時：平成17年9月30日（金） 18:00～20:00

場所：苫小牧市民会館 202号室

出席者：

<委員> ※五十音順・敬称略

- ・伊藤 久美子 主婦
- ・大槻 泰夫 北海道建築士会苫小牧支部長（北海道コーダー設計(株)代表取締役）
- ・佐藤 郁子 苫小牧駒澤大学国際文化学部 教授
- ・関根 幸子 主婦
- ・原山 巧 苫小牧市企画調整部都市計画課 主査

<オブザーバー>

- ・衣笠 利彦 札幌地方検察庁苫小牧支部長
- ・影久 睦典 (株)苫小牧法務総合庁舎PFI 業務補佐（岩倉建設(株)）

<事務局等>

- ・下野 博史 北海道開発局営繕部建築課長
- ・鳥井 重弘 北海道開発局営繕部営繕調査官補佐
- ・塚田 浩士 札幌地方検察庁会計課国有財産係長
- ・蝦名 宰 (株)苫小牧法務総合庁舎PFI 業務担当（岩倉建設(株)）
- ・鈴木 康平 (株)苫小牧法務総合庁舎PFI 業務担当（岩倉建設(株)）
- ・藤ノ木 慎一 (株)苫小牧法務総合庁舎PFI 設計担当（株)INA新建築研究所）
- ・森 廣和 北海道開発局営繕部建築課営繕監督官
- ・佐藤 雅彦 北海道開発局営繕部建築課

●配布資料

- ・資料1 工事のイメージアップについて
- ・資料2 外壁の色彩計画等（立面図）

●本日の議題

- ① 工事のイメージアップについて（報告）
- ② 外壁の色彩計画等について
- ③ その他

●議 事

○配布資料についての確認

① 工事のイメージアップについて（報告）（配布資料1参照）

●説明及び報告事項

○仮囲いイメージアップに関する苫小牧東小学校への協力願いについて

- ・ 時期的に早期に実施する必要があったため、佐藤座長と打合せを行い正式に苫小牧東小学校へ協力をお願いしたところ、快く協力して頂けることとなり、現在は具体的な作業内容について準備を進めている状況。

（イメージアップ実施内容）

1. 対 象 苫小牧東小学校の児童 1年生～4年生 計 8クラス 193名
2. 作成作品 カラーシート（A4版程度）による切り絵
1・2年生については手形（推定）
3・4年生については未定（学校に一任）
3. 作業日程 9月29日 カラーシート一式（赤、青、オレンジ、緑 4色計 304枚）
小学校へ渡し済。
10月3日～14日 作成作業
10月17日～21日 作品掲示作業
1学年1時間程度、計4時間程度で作業可能ではないか（小学校談）
近々、小学校より掲示作業日について回答があり、現場との協議のうえ、
日程を決定する予定。
4. 掲示方法 児童が直接仮囲いに貼り付ける。
（脚立の用意、安全対策等は事業者（現場）で対応）

○仮囲いののぞき窓について

- ・ 現在の1ヶ所から4ヶ所へ増設。（配置図参照）

○小学生の工事現場見学会について

- ・ 「建物の形がある程度出来た段階の方が良いのではないか」という意見を小学校から頂いており、そうなれば時期的には来年の4月以降ということになる。詳細については未定。

●質疑応答及び意見交換

○工事現場見学会について

(意見) 小学校の授業の中に「発展する苦小牧」というものがあるそうですので、そこに組み込むとすれば 3～4 年生が対象となる。詳細は小学校と話を進めていただきたい。

② 外壁の色彩計画等について

●説明及び報告事項

○本事業の業務要求水準書についての説明。

(1) 地域性に関する性能

a) 周辺地域との整合・調整

- ・苦小牧東小学校に対する配慮する。(日影・既存樹木等)
- ・周辺道路や前面道路の歩道橋等からの俯瞰に配慮する。

b) 関連する地域計画との整合・調整

- ・苦小牧市による「平成 13 年度苦小牧市中心市街地地区まちづくり実施計画」の内容を踏まえたものとする。

(2) 景観性に関する性能

a) 地域にふさわしい景観づくり

- ・開かれた庁舎として、広く利用者に親しまれる開放的な表情を有し、かつ、官庁建物にふさわしい品格を備えたものとする。

b) 市の関連計画や施設との整合性

- ・苦小牧市のカルチャーストリートについて、その整備趣旨を尊重し建物や外構に緑と潤いを創出し、周囲と調和した魅力ある歩行空間、景観の形成に寄与する。

○S P C 提案内容の説明。

(1) 建物のコンセプト

- ・太平洋と対峙するイメージ
- ・シンプルな直方体とし高さを抑え、周辺住宅・学校等の街並みに違和感なく溶け込む

(2) 外壁色彩計画について

a) 建物外観

- ① パターン 1—横のラインを強調 (海と対峙するイメージ)
- ② パターン 2—縦のラインを強調 (壁面にリズムを創出、横長の印象を薄くする)
- ③ パターン 3—パターン 1 よりも建物自体の重厚感を創出

b) 外壁色彩

- I 提案 1—レンガ色 (緑に映える色)
- II 提案 2—ライトベージュ (S P C 提案。カルチャーストリートとの調和を図る)
- III 提案 3—ライトグレー (提案 4 と濃淡の差をつけて)

IV 提案4ーライトグレー（提案3と濃淡の差をつけて）

※前回資料の「きれいな色使いの建物は？」のアンケートにおいて、苫小牧市の「グランドホテルニュー王子」がランクイン。その外壁色がライトグレーである。

- c) 窓、外壁等の材料
 - i 外 壁ー二丁掛けタイル
 - ii サッシー一般的なサッシ（シルバー）
 - iii 窓 ー透明ガラス
 - iv 窓の間ー鋼板系

●質疑応答及び意見交換

○外観パターンについて

（意見）縦に流れを強調するよりも、横の方が良いのではないかな。

（意見）コンセプトとして高さを抑えるということがあるので、パターンとしては1か3となる。パターン2は高さを感じる。色合いの関係も併せて総合的に考えるとパターン3が良いのではないかな。

（意見）苫小牧市役所が建設された時に、窓ガラスに光が反射するというので評判が良くなかったのが、全面窓ガラスというのはどうかなと思う。高さが無いのであまり気にしなくてよいとは思いますが。

（意見）建物自体が直方体で堅い。それを目線上から和らげるにはパターン3の横のタイプとし、1、2階をカーテンウォール形式として、ガラスやアルミパネルで同系色を使用すれば、遠くから見ると安定したものに見える。

それをパターン2に当てはめてみると、縦が強調されてそびえ建っているように感じる。ある程度高さを考えながら、安定感を持たせるにはパターン3が良いのではないかな。

（意見）パターン1、3が親しみやすい感じがする。

・まとめ

パターン3の提案が良いのではないかな。高さを感じさせず、安定感のあるものに見える。

○外壁色彩について

（意見）検察庁という堅い建物ですので、せめて外から見た感じくらい楽しいものとしたい。

（意見）サッシの色がポイント。それによって外壁の色も変わってくる。

（意見）カルチャーストリートの歩道がレンガ系のものを使用しているので、建物はベージュ系の色だと一体感が出るのではないかな。

（意見）グレー系は都会的でクールといった意見もあるが、冷たい印象もある。周辺の建物はグレー系が多いので、引き締めるような色の方が良いのではないかな。

（質疑）レンガの色は資料のようにピンクがかかったものになるのかな？

→レンガの色というのは本来はもっと赤いのだが、そこまでの色とは考えていない。資料の色と同程度のものを考えている。

(意見) はっきりとした原色系の色では堅いイメージになるので、暖色系の中間色が良いのではないか。

(意見) グレーのイメージから脱却し、存在感のある色が良い。柔らかいベージュ系の色よりも引き締まって見えるような色にしてはどうか。

・まとめ

グレー系ではなく、存在感・品格・重厚感があり、締まって見える色が良いのではないか。次回、イメージされる色を見せていただきたい。

(先駆的で、他の建物に真似されるような品格のある色)

○窓、外壁等の材料について

(質疑) 鋼板系というのはアルミパネルと考えるとよいのか？

→事業が終了した後も建物の機能が保たれるように、メンテナンスや補修のことも考え、長期的に対応したものとしたいので、鋼板といっても耐久性に優れたものを使用するように考えている。

(質疑) パネル(鋼板)について、潮風(塩害)に対してはどうか？

→鋼板はあくまでも塗装しているものであり、保守メンテは必要となる。塗装のメンテは通常10年程度、良いものだと20~25年程度のものもあるがコストは高くなる。

(意見) ガラスの方が錆や汚れを心配しなくていいのならば、鋼板よりガラスの方が良いと思う。

(意見) 窓の間については、やはりこの地域は塩害が相当あるので、十分に考慮してもらいたい。イニシャルコスト(初期投資)が多少コストアップしたとしても後々を考えると安価で済むことがあると思う。

(意見) サッシがシルバーというのはがっかりした。

(意見) 塩害がひどい海岸に近いところは、サッシはアルミ以上でないとダメだと思う。

(意見) サッシを1階の部分だけでも違う材料にしたらどうか。

(意見) サッシとしてはアルミ以上のもので、外壁と色を合わせたカラーのものを使用したらどうか。

(意見) ガラスも鏡のようになるものの方が、品格、風格がある建物になるのではないか。

(意見) 長期的な視野に立つと、良いものを選択した方が良い。

(意見) ガラスは断熱効果が高いものがあるので、省エネを考えてそちらにした方が良い。

(質疑) 壁面のタイルはどのようなものか？

→外断熱のため、乾式タイル(引っ掛けるタイプ)を使用する。

(意見) 最近では、ガルバにフッ素樹脂塗装した良い物も出てきてはいるが、結果的に最後は朽ちてしまう。金属系のもので塗装は塗装なので、塗膜がはがれてしまえばメンテナンスも必要になる。極力、塗装に頼らないものの方が適しているのは間違いない。

(意見) サッシに関しては、最も安価で丈夫で使いやすいのはアルミなので、カラーのものを使うのであればそれでも良いのではないか。

(意見) タイルの質によって耐性が違ってくると思う。アルミでも良いものがあれば使用しても良いのではないかな。

(意見) 木を使って欲しい。実際に20年経ってもびくともしない。何年か毎に塗り直すのが、温かみもあってよいのではないかな。北海道らしくもなる。

(質疑) 木を使うというのはどうなのかな？

→住居用と事務所用とで違いはある。アルミはメンテナンスフリーに近いのだが、木はそうはいかない。塗装を塗り直さないと木自体がダメになる。

→レンガタイルに窓枠で木を使うのは、ある意味北海道らしいイメージにはなる。なお、朽ち方は金属とは違っているが、フリーメンテナンスの材料ではない。

(意見) 全面タイルよりも1、2階の部分でアクセントがあった方が良いと思うので、アルミでも良いのではないかな。

・まとめ

窓 省エネ、環境保護を考慮したものが良いのではないかな。

サッシ シルバーではなく外壁に合うような色が良いのではないかな。(カラーサッシ)
アルミ以上の良い材料を使用した方が良いのではないかな。

③ その他

○モニュメントについて

●説明及び報告事項

・SPC提案

北海道道都大学美術学部生の卒業作品を展示。卒業作品のため、こちらの意見が反映されるものではなく、作品の中から良いものを選ぶことになる。

・その他の方法

①苫小牧市内に眠っているものがあるとすれば、それを無償でお借りして展示。

②スペースだけを用意して、展示作品を募集する。

③スタートと同時に展示品を決めるのではなく、スペースだけを用意して後々良いものがあれば展示する。

●質疑応答及び意見交換

(意見) カルチャーストリートと関連させて何か良いものはないかな。

(意見) 駅前通りのモニュメントについては、残念ながらあまり見られていないうえに、いたずらされたり、壊されたりしている。

(質疑) 一度展示したらそのままずっと同じものを展示するのか？

→公共的な場所に展示しても良いという作品があれば、置き換えることも考えられる。

(意見) 子供達が触れたり、くぐったりできるような体感型のものが良いのではないかな。

(意見) 対象となる作品自体が存在するかどうかの確認が必要。

(質疑) 道都大学の卒業作品というのは無償で借りられるのか？

→無償で借りられる。しかし、現在道都大学には彫刻作品はない。粘土系の作品はあるのだが、それを飾るとすればケースに収めなければならない。

(意見) 誰がみても芸術性が理解できないものを飾るのはどうか。そのようなものが並ぶと良い町にならない。小学校が近いのだから、何かしら受賞しているような本物の作品を小さいころから“見せる”ということが良いのではないか。

(意見) 体験型の作品は、そういう場所（公園、芸術の森等）でやった方が良い。今回の狭い敷地には不適切ではないか。安全面でも不安がある。

○意見箱について

●説明及び報告事項

- ・工事現場の仮囲いに意見箱を設置している。その箱に小学生からの質問が入っていたので、質問に対して返答したいのだが、どのようにしたら良いかご意見をいただきたい。

●質疑応答及び意見交換

(意見) 仮囲いのところにコーナーを設けて質問とその回答を載せてはどうか。

(意見) 貼りきれない程あれば、期限を設けて順にはがしても良いので、回答はした方が良い。

○今後のスケジュールについて

- ・次回開催予定 平成 17 年 11 月 15 日（火）18 時 30 分より

- ・次回予定議題 外壁色彩、モニュメント、外構スペースについて
(外壁のサンプル、外構模型（広さがイメージできるように）の用意)

- ・メンバー現場見学会 来年度を予定。